



# 国立天文台の対メディア広報と AlphaGalileoの利用

---

国立天文台天文情報センター広報室長  
国立天文台チリ観測所 助教  
総合研究大学院大学 天文科学専攻 助教

平松正顕

# 自己紹介

- 平松正顕 (ひらまつまさあき)
- 国立天文台チリ観測所 助教/広報主任
- 国立天文台天文情報センター広報室長  
総合研究大学院大学天文科学専攻 助教



- 経歴
  - 2008 東京大学大学院 理学系研究科 天文学専攻 博士課程 修了
  - 2008-2011 台湾中央研究院天文及天文物理研究所 博士研究員
  - 2011- 国立天文台チリ観測所 助教/広報主任
  - 2014.12- 国立天文台天文情報センター広報室長



# アルマ望遠鏡





## Stars in the Head

A Japanese astronomer wants you to ponder the heavens even as you engage in earthier activities. His idea: astronomical toilet paper. Every 70 centimeters, the paper tells, with pictures and text, of the formation, evolution, and death of a star. "By reading this toilet paper, I'm hoping people will realize they are part of the universe and possibly develop an interest in astronomy," says its inventor, University of Tokyo Ph.D. candidate Masaaki Hiramatsu. Over the past year, observatories and science museums have sold 13,000 rolls at \$2.25 apiece (see [www.tenpla.net/atp](http://www.tenpla.net/atp)).



Hiramatsu hopes to extend his market by playing to the intense Japanese interest in astrology: His next roll will feature "interesting heavenly objects in the vicinity of the zodiac constellations."

*Science*, Vol. 311 (2006)

# 自然科学研究機構国立天文台

---

- **ビジョン：**

- 宇宙の謎に挑む国立天文台

- **ミッション：**

- 知の地平線を広げるため、大型天文研究施設を開発・建設し、共同利用に供する
- 多様な大型施設を活用し、世界の先端研究機関として天文学の発展に寄与する
- 天文に関する成果・情報提供を通じて、社会に資する

# 国立天文台の研究施設

## 宇宙へ近づくため よりよい観測環境を求めて 世界に広がる研究施設

国立天文台の研究・観測施設は日本各地にとどまらず、すばる望遠鏡や建設中のALMA(アルマ)のように海外にも進出しています。天文学の観測では、可視光、赤外線、電波、重力波などの観測手段と、太陽とそれ以外の宇宙などの観測対象に応じて、最適な観測条件と環境が必要とされるからです。

この掲載ページを掲載に際していただき、現在までわが国にない宇宙の全体像を掴むことができるよう、天文学の発展に貢献してまいりました。ここで紹介した国立天文台の各研究施設は、互いに連携しながら、その全体の発展に努力を続けています。

### 国立天文台チリ

**望遠鏡施設 (プロジェクト) → p.18**  
NAOJ Chile Observatory  
ALMA(アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計) ALMA(アルマ)は、日本・台湾・米、欧州の参加によりチリの標高5000mの高原に建設中の最大口径電波望遠鏡です。国立天文台が牽引も担っており最大のプロジェクトでも、2012年度から本格的にスタートしました。日本のアンテナも科学観測に貢献しています。(以下)



ASTE(アタカマサブミリ波望遠鏡) 口径0.1mmφ(1mm)のサブミリ波と呼ばれる電波を観測します。サブミリ波で観測する電波は赤外線や可視光線に比べて波長が長いので、波長の長い電波は赤外線や可視光線に比べて観測に有利な場合もあります。(以下)



### 国立天文台野辺山

**野辺山宇宙電波観測所(プロジェクト) → p.15**  
Nobeyama Radio Observatory  
日本の電波天文学を世界のトップレベルに押し上げた観測所です。写真の45m電波望遠鏡(右)は、ミリ波で宇宙最大の望遠鏡で、新しい中性分子の発見や原始惑星系の回転ガス雲の発見など、数々の重要な成果を挙げています。常時観測可能です。



**野辺山太陽電波観測所(プロジェクト) → p.15**  
Nobeyama Solar Radio Observatory  
太陽の爆発現象を観測する7径射システム(電波ヘリックスアレイ)で、太陽活動のモニターを行っています。

### 国立天文台岡山

**岡山天体物理観測所(プロジェクト) → p.16**  
Okazaki Astrophysical Observatory  
国内最大級の口径188cm反射望遠鏡を中心に、顕微・望遠・太陽系外惑星などの光学赤外線観測を軸とした国内研究拠点です。東アジア圏最有力の一翼も担っています。さらに、ファインバー光分光装置、赤外線分光装置、赤外線分光装置カメラなど、宇宙を見る新しい眼を次々と開発しています。



### VLBI・7局 (VERA+馬場を含む)

**水沢 VLBI 観測所-山口局**  
Mizusawa VLBI Observatory  
Yamaguchi station



**水沢 VLBI 観測所-VERA 入来層**  
(プロジェクト) → p.14  
Mizusawa VLBI Observatory  
VERA Inake station



**水沢 VLBI 観測所-笠取島局**  
Mizusawa VLBI Observatory  
Kasumiga station



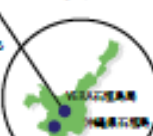
口径105cm(φ0.41m)望遠鏡がある石垣島天文台 → p.27

**石垣島天文台**  
Ishigaki Astronomical Observatory



観測系の3次光地帯を有するVERA観測所のひとつです。

**水沢 VLBI 観測所-VERA 石垣島局**  
(プロジェクト) → p.14  
Mizusawa VLBI Observatory  
VERA Itoya station



小笠原群島 笠取島

**水沢 VLBI 観測所-VERA 小笠原局**  
(プロジェクト) → p.14  
Mizusawa VLBI Observatory  
VERA Ogasawara station

観測系の3次光地帯を有するVERA観測所のひとつです。



### 国立天文台水沢

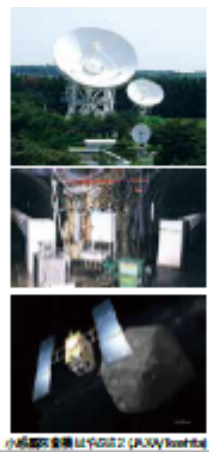
**水沢 VLBI 観測所-VERA 水沢局 (プロジェクト)**  
Mizusawa VLBI Observatory  
VERA Mizusawa station → p.14

国際観測所として高い歴史をもつ観測所です。国立天文台・天文学の発展に貢献して、日本の観測所を代表する天文台のひとつでもあります。また、観測系の3次光地帯を有するVERA観測所でもあります。

**国際地球磁気観測所**  
レーザー光線を利用して地球の内部の電流を測るレーザー望遠鏡です。地殻による地球の磁場の変動をモニターします。

**RSE 月惑星探査機観測 (Aプロジェクト) → p.22**  
RSE(Research of Interior Structure and Evolution of Solar System Bodies) Project

探査機「かぐや」で観測データ・観測データを用いた地球の地形・重力場を初めて明らかにしました。さらにSELENIS-2では、探査機VLSI観測用レーザー望遠鏡により、月のコアや下部マントルの状態を観測することにより、月の起源・進化を明らかにします。小惑星、水星、火星などの観測対象にも参加しています。



小笠原群島 笠取島 (AJOY Island)

32m 電波望遠鏡 (行方不明アンテナ、鏡面メンテナンス)

**水沢 VLBI 観測所-茨城局**  
Mizusawa VLBI Observatory  
Ibaraki station



### 国立天文台三浦 (本部)

二重キャンパス

二重キャンパスは、国立天文台の本音が響き、さまざまなプロジェクト、センター、研究所、事務局が集まっています。

**太陽観測所 (プロジェクト) → p.16**  
Solar Observatory

**天文シミュレーションプロジェクト (プロジェクト) → p.17**  
Center for Computational Astrophysics

**ひびの科学プロジェクト (プロジェクト) → p.18**  
Hinode Science Center

**重力波プロジェクト推進室 (プロジェクト) → p.19**  
Gravitational Wave Project Office

**TMT 推進室 (プロジェクト) → p.20**  
TMT (Thirty Meter Telescope) Project Office

**JASMINE 観測所 (Aプロジェクト) → p.21**  
JASMINE (Japan Astronomy Satellite Mission for Infrared Observation) Project Office

**太陽系外惑星探査プロジェクト室 (Aプロジェクト) → p.21**  
Detecter Planet Detection Project Office

**SOLAR-C 推進室 (Aプロジェクト) → p.22**  
SOLAR-C Project Office

**天文データセンター → p.23**  
Astronomy Data Center

**先端技術センター → p.24**  
Advanced Technology Center

**天文情報センター → p.24**  
Public Relations Center

**光赤外線研究部 → p.25**  
Division of Optical and Infrared Astronomy

**電波研究部 → p.25**  
Division of Radio Astronomy

**太陽天体プラズマ研究部 → p.26**  
Division of Solar and Plasma Astrophysics

**理論研究部 → p.26**  
Division of Theoretical Astronomy

**国際連携推進室 → p.27**  
Office of International Relations

### 国立天文台ハワイ

**ハワイ観測所 (プロジェクト) → p.17**  
Subaru Telescope



ヒロ・オフィス  
ハワイ島のヒロ市にあるハワイ観測所の本部です。すばる望遠鏡による観測研究の拠点となっています。



すばる望遠鏡  
ハワイ島のマウナケア山頂(標高4200m)に設置された口径8.2mの世界最大級の可視光・赤外線望遠鏡です。平成12年度から本格的な観測を始め、現在、世界最先端の研究成果を挙げています。



アメリカ合衆国 ハワイ州ハワイ島

# ALMA

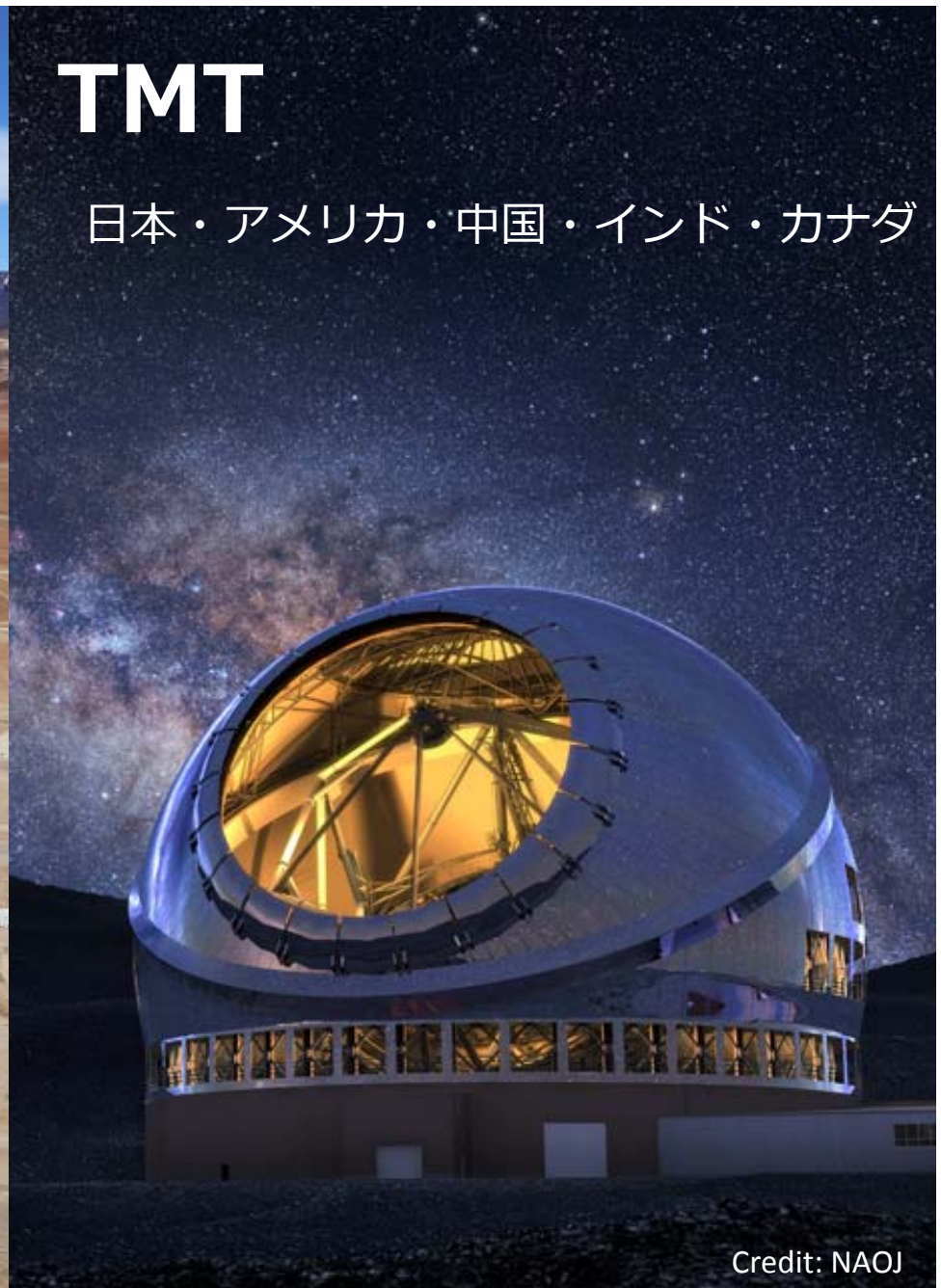
日本・台湾・韓国  
アメリカ・カナダ  
欧州14か国、ブラジル、  
チリ



Credit: Clem & Adri Bacri-Normier ([wingsforscience.com](http://wingsforscience.com))/ESO

# TMT

日本・アメリカ・中国・インド・カナダ



Credit: NAOJ

# 国立天文台の「広報」

## 天文情報センター

### 広報室

- プレスリリース、ウェブ、映像、講演会

教員系 4名、  
技術系 6名、  
契約職員 28名（含 短時間職員）  
1994年に広報普及室として誕生。

### ミュージアム検討室

- 三鷹キャンパス公開、観望会、ドームシアター、歴史的資料

### 普及室

- 質問電話、台外でのイベント・キャンペーン

### IAU Office for Astronomy Outreach

### 出版室

- 国立天文台ニュース、各種パンフレットの製作

### 図書室

- 図書・電子ジャーナル、貴重書の保存と公開

### 暦計算室

- 暦象年表・暦要項の編纂



# 天文情報センター＋プロジェクト広報

**Cプロジェクト**

- ★ 水沢VLBI観測所
- ★ 野辺山宇宙電波観測所
- ★ 野辺山太陽電波観測所
- ★ 太陽観測所
- ★ 岡山天体物理観測所
- ★ ハワイ観測所
- ★ チリ観測所
- ★ 天文シミュレーションプロジェクト
- ★ ひので科学プロジェクト

**Bプロジェクト**

- ★ 重力波プロジェクト推進室
- ★ TMT推進室

**Aプロジェクト**

- ★ JASMINE検討室
- ★ 太陽系外惑星探査プロジェクト室
- ★ RISE月惑星探査検討室
- ★ SOLAR-C準備室

**センター**

- ★ 天文データセンター
- ★ 先端技術センター
- ★ 天文情報センター

**研究部**

- ★ 光赤外研究部
- ★ 電波研究部
- ★ 太陽天体プラズマ研究部
- ★ 理論研究部

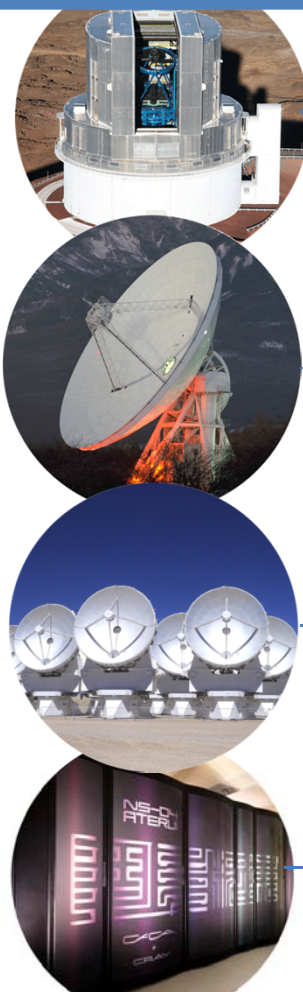
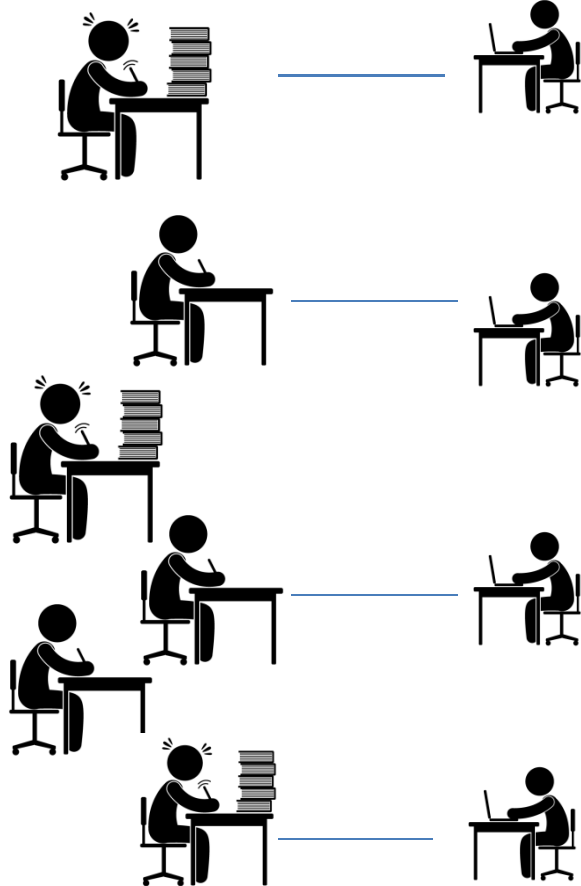
広報専任教員のいるプロジェクトから、短時間職員だけのところまで様々。

情報センターとあわせて、約50名

# 国立天文台のプレスリリース

研究者

プロジェクト広報



天文情報センター  
広報室

文部科学記者会

学術会議 科学記者会

独自登録メディア

米国天文学会

AlphaGalileo

自然科学研究機構広報

EurekAlert!



国立天文台 アルマ望遠鏡

@ALMA\_Japan

フォローする

【プレスリリース】アルマ望遠鏡、巨大ブラックホール周囲に驚くほどマイルドな環境を発見 [ow.ly/JFeZO](https://www.almajapan.org/ow.ly/JFeZO) 強烈なX線・紫外線にさらされる巨大ブラックホール（活動銀河核）の近くで、大量の有機分子が検出されました

2015年2月26日 14:40

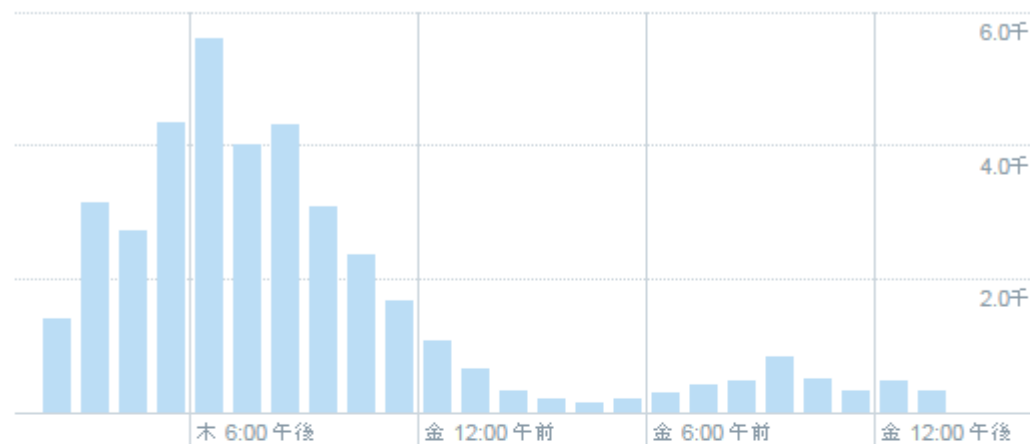
310件のリツイート 331人がお気に入り登録



## インプレッション概要

最初の24時間

過去24時間



## 主なデータ

数量

インプレッション  
ユーザーがTwitterでツイートを見た回数 53,206

埋め込みメディアのクリック数  
ツイート内の画像や動画を表示するためにクリックした回数 907

詳細のクリック数  
ユーザーがツイートをクリックして詳細を確認した回数 534

リンクのクリック数  
ツイート内のリンクまたはカードをクリックした回数 349

お気に入り  
ユーザーがツイートを「お気に入り」に登録した回数 331

# 国立天文台のプレスリリース

---

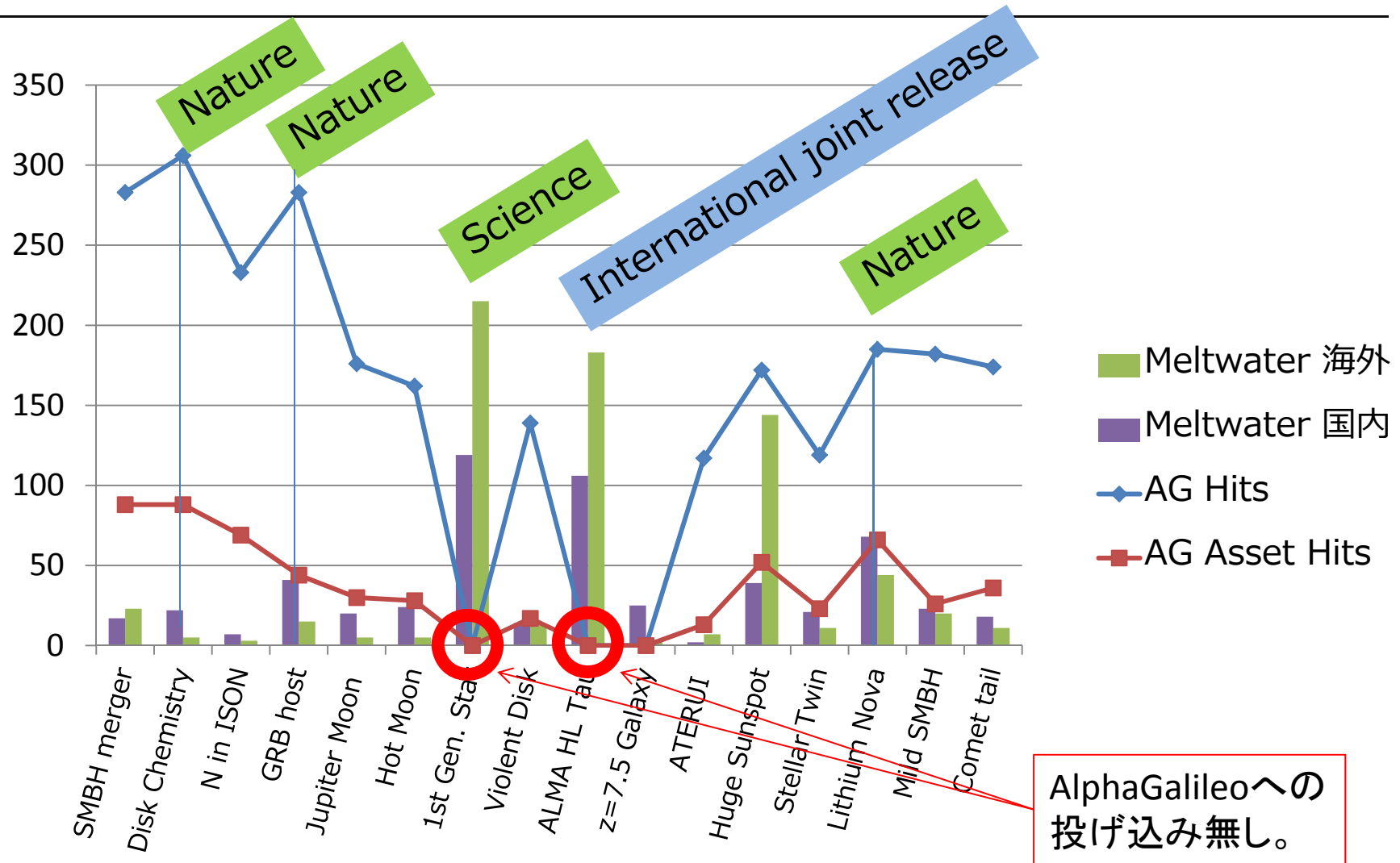
- 年間10～15件
- 論文著者とプロジェクト広報で作成  
→ 広報室が監修、メディアへの投げ込み。
- 記者以外が読んでわかる・楽しめるリリースを。
  - 専門用語はできるだけ噛み砕く
  - ただし記者がさらに噛み砕いて記事にできるよう、  
(欧米機関のリリースに比べると) 事実を多く盛り込む。
  - 研究者のリアルなコメントを入れる
  - 画像は生命線 (観測画像がない場合はイラスト/CG)
- オンラインメディアクリッピング : Meltwater

# 国立天文台の英語プレスリリース

---

- 基本的には、日本語→英語の翻訳
- 原則、日本語・英語で同時にリリース
  - 小規模プロジェクトなど、未対応のところも一部。
  - ハワイ観測所は所内に英語ネイティブ広報担当。
  - 天文情報センターに英文エディタURAを雇用。
- AlphaGalileo と米国天文学会リリースサービスに投稿。
  - AlphaGalileoはタイトル・概要・画像1枚+コンタクト、米国天文学会はタイトル・概要・コンタクト
- 効果測定??

# オンラインメディア掲載件数



# 何が受けるのか？

---

- Nature掲載論文は、AlphaGalileoでの閲覧数が多い。
- AlphaGalileo閲覧数とメディア掲載数との相関は悪い。
- ALMA「視力2000」で見た HL Tauri
  - 国際共同リリース
  - 画像のインパクト
- 地球66個分の巨大黒点
  - 身近さ、おどろき
  - 他のリリースに比べ中国語圏で人気

